

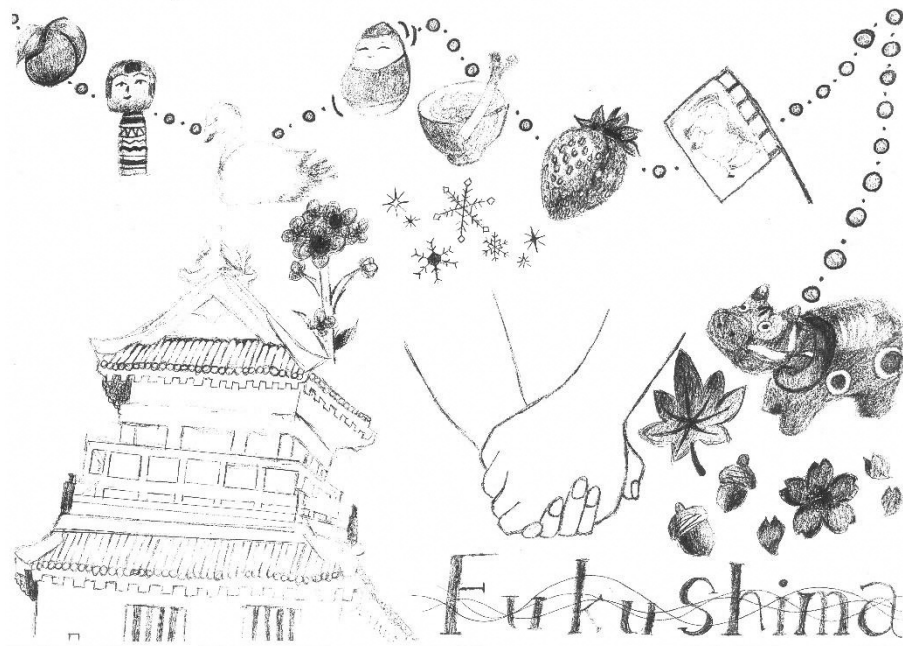
令和5年度

「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」

相双域内選考作品集

～ とど 届けたい みらい 未来へつなぐ じゅうななじ 十七字 ～

(令和5年度キャッチフレーズ)



福島県教育庁相双教育事務所

表紙絵

題『ふるさと』

佐藤 楓 さん

(南相馬市立太田小学校6年生)

令和5年度「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」

相双域内選考作品集の刊行にあたって

福島県教育委員会主催の「ふくしまを十七字で奏でよう絆ふれあい支援事業」は、子どもたちが、学校や家庭、地域の人との体験活動や交流活動を通して、感じた思いや願いを17音で表現し、子どもたちの豊かな心を育てるとともに、人と人との絆を深めることをねらいとしています。

平成14年度にスタートした本事業は、今年度で22回目を迎え、県全体で41,678組の応募がありました。

相双域内からは、「絆部門」に4,287組、「ふるさと部門」に1,860組、合計6,147組の応募をいただきました。その中から最優秀賞に3組、優秀賞に1組、佳作に3組が入賞しました。県全体の41,678組の中から選ばれたことは、素晴らしいことです。

この選考作品集は、相双域内から応募された6,147組のうち、入賞作品、二次審査通過作品及び一次審査通過作品の327組をまとめたものです。

今年度の「絆部門」では、子と親、孫と祖父母、兄弟姉妹や友達同士といった様々な関係の中での日常の一コマを、温かい気持ちでつないだ作品が多く見られました。また、「ふるさと部門」では、相双地区ならではの伝統行事や自然の風景を表現した作品や、東日本大震災を風化させない気持ちを詠んだ作品が多く寄せられました。

このようにたくさんの応募があったことは、相双域内の皆様に、本事業の趣旨を十分に理解していただいていると、改めて実感しております。これからも、人と人とのつながりと豊かな体験活動等を通して、さらに家庭や地域の絆を深めていただきたいと思います。

最後に、毎年本事業にご協力をいただいております各市町村教育委員会をはじめ、退職校長会各支部、各学校並びに作品を応募された皆様に心より感謝申し上げます、刊行のあいさつといたします。

令和6年1月

福島県教育庁相双教育事務所長 武口 隆行

掲載作品組数

所属学年	絆部門	ふるさと部門
小学1年生	29	7
小学2年生	30	11
小学3年生	19	13
小学4年生	24	10
小学5年生	24	12
小学6年生	22	18
中学1年生	20	16
中学2年生	29	5
中学3年生	25	12
高校2年生	0	1
合計	222	105

最優秀作品（絆部門）

石神二小 二年 北内 康裕
おてつだい
おさらあらいは
まかせてね

キッチンに
ふみ台ひとつ
笑みふたつ
母 北内 安有美



最優秀作品（ふるさと部門）

山上小 四年 伊藤 新一郎
野馬おいに
ぼくも出たいな
とうさんと

背に指した
旗の重さも
伝えたい
父 伊藤 貴之

ふるさとを
どこか知らずに
十二年
鹿島中 三年 高田 ゆき
母 高田 真喜子
あの日から
行く先々が
ふるさとに

優秀作品（絆部門）

祖母 大槻 さくら

置き忘れ

スマホさがしは

孫だのみ

中村一中 二年 大槻 雄史

またきたか

呼びだし音で

捜査隊

佳作作品（絆部門）

鹿島小 一年 亀井 莉音

らんどせる

わたしといっしょに

なつやすみ

母 亀井 朋美

ピカピカも

板についたね

いちねんせい

佳作作品（ふるさと部門）

広野小 三年 石井 杏奈

冬が来る

みんな大好き

みかんがり

母 石井 美和子

海の町

みかんの丘と

赤とんぼ

向陽中 一年 唯野 愛夏

父が言う

今なき磯部

みてみたい

父 唯野 善広

伝えたい

過ぎした町の

よきところ

二次審査通過作品（絆部門）

ママどうぞ わたしの作った トマトだよ
 ありがとう 今日は眺めて 明日食べる

八幡小 二年 母 中島 彩乃
 中島 裕美子

たまねぎを いちりんしゃで はこんだよ
 たまねぎと 娘を乗せて 五往復

八幡小 一年 母 青田 眺里
 青田 美智子

お母さん そんなにたくさん 聞かないで
 タご飯 娘と会話が したい母

日立木小 四年 母 臺内 葵
 臺内 恵美

ぎゅーすると ぼくのところが うれしいよ
 ぎゅーっとね いつまでさせて くれるかな

中村二小 一年 母 吉田 幸子
 吉田 岳

次はなに？ 母の手となり 足となり
 松葉杖 こんな執事が 欲しかった

原町二小 四年 母 門馬 ミキ
 門馬 昇

お手伝い ねこの手にして したり顔
 出来るから つい口をだす おやごころ

中村二小 一年 母 佐藤 悠
 佐藤 想介

軽トラで 孫と蒲刈り 那須の空
 じっちゃんとおとこどうしの だいぼうけん

富岡小 一年 祖父 佐々木 誠
 佐々木 奏太

なつやすみ まいにちごはん おいしいな
 献立を 考えるのも 大変だ

中村二小 一年 母 横山 圭那子
 横山 心奏

なにかない ぼくにもできる おてつだい
 ありがとう 今日はカレーに 変更だ

広野小 一年 里親 高橋 凛音
 矢内 幸子

ありがとう おくりむかえは じいたんとう
 急がなきゃ 習い事へと 軽トラで

桜丘小 一年 祖父 佐藤 成二
 佐藤 宏征

私では 何か足りない 祖母の味
 母の味 子への想いが 調味料

中村一中 二年 母 齋藤 愛実
 齋藤 早苗

おねえちゃん あいさつするこえ かっこいい
 姉として 見本になるよう ごあいさつ

日立木小 一年 星 菜宏
 日立木小 三年 星 めい

相棒に 君を選んで 大正解
 誘われて 続けてみたら 県大会

中村一中 三年 母 松本 心優
 森 そな

わんこそば かぞくでいくよ うれしいな
 腕重ね 子どもの成長 笑みこぼれ

原町一小 一年 母 小林 香穂
 小林 明恵

二次審査通過作品（ふるさと部門）

ぼんおどり 横ぶえをふく 友達と
 伝統を 楽しむ娘 誇らしい

飯豊小 四年 母 鈴木 洋香
 鈴木 洋美

初めての 温泉卓球 楽しいな
 不覚にも 負けてしまった 酔っ払い

原町一小 一年 父 佐々木 聡介
 佐々木 達也

一次審査通過作品（絆部門）

【小学校 一年生】

はじめての おしゅうじパパに ならったよ
 父の筆 持ち書く子の手の 愛らしさ

新地小 一年 父 目黒 佑弦
 目黒 敬也

みていてね もぐれるんだよ にじゅうびよう
 見るたびに 記録更新 また行こう

原町三小 一年 母 渡部 朱璃
 渡部 美樹

だいじょうぶ ははのぬくもり それだけで
 代わりたいたい 抱きしめながら 大丈夫

大野小 一年 母 鈴木 海空
 鈴木 真由美

育つかな カットスイカの 種植える
 芽が出る 子の好奇心に 感心す

原町三小 一年 母 野方 涼雅
 野方 真由美

原町二小 一年 母 源後 晴士
 源後 千尋

ばばとぼく みようみまねの ぼんおどり
 新任地 笑顔で馴染む 子の強さ

原町二小 一年 母 丹野 香織
 丹野 柚

原町二小 一年 母 丹野 香織
 丹野 柚

原町三小 一年 母 野方 涼雅
 野方 真由美

せんこうの けむりゆらゆら あいたいな
花添えて 面影恋し あの笑顔
パパきいて? ○くんが 気になるの
認めんぞ パパは絶対 認めんぞ!

おかあさん なんてよむのか わからない
「大丈夫」 あなたのペースで いいんだよ

ぎゆうすると ままのにおい おちつくの
甘えんぼう そう言いながら いつまでも

なわとびが うまくできない ママやって
得意気に 跳んでみたけど 息切れる

あさがおは いろんないろが あるんだね
咲くたびに 娘の笑顔も 満開だ

かわいいな あさひのほっぺ もちみたい
もう昔 我が子のほっぺ おもいだす

つれてって つぎはこっちの おまつりに
もりだくさん コロナあけの なつまつり

みつけたよ おにゆりやまゆり きれいだな
遊ぶ子を 見守る蛙 盆の庭

とべるはず にこにこようゆう 大なわだ
新記録 笑顔の裏で 筋肉痛

【小学校 二年生】

え本をね よんであげるよ おとうとに
本を読む 三兄弟で 順番に

火をたいて 花火もしたよ はかまいり
コロナあけ 盆の迎え火 大騒ぎ

ほらできた ほうちょうつかって おてつだい
ありがとう 見守る母は ドキドキだ

石神二小 一年 母	岡田 拓郎 愛海	おいしいな おかあさんと はんぶんこ ありがとう いいから全部 食べなさい	八幡小 二年 母	播谷 芽依 智美
石神二小 一年 父	高原 袖月 駿	気を付けて パパが来るまで 起きてるね 転勤で 家族と心が 近くなる	中村一小 二年 父	伏見 琉生 一仁
鹿島小 一年 母	佐藤 大悟 佳子	なっとうごはん ママのりよりは てんさいだ 手抜きご飯 天才とほめる娘に 罪悪感	中村二小 二年 母	宍戸 葦莉亜 亜香音
鹿島小 一年 母	波邊 真織 沙織	ぼくのゆめ いつかのりたい ちちのふね 先代も 息子の夢が 父の夢	中村二小 二年 父	菊地 功峻 基文
鹿島小 一年 母	佐藤 梨詩 有香吏	ひまわりと ぼくのせくらへ ぼくのかち 太陽と 息子の笑顔 眩しすぎ	桜丘小 二年 母	大塚 虎ノ介 由美
鹿島小 一年 父	寺澤 勝晴 紬	ナビつけた 孫に教わる 現在地 どこ行くの? ナビの入力 ぼくがやる	桜丘小 二年 祖母	高橋 あさ子 暖太
上真野小 一年 先生	加藤 正真 睦美	ポケモンに のって行きたい かるうさん 背に乗せて ポケモン代わりも 今のうち	日立木小 二年 父	木幡 宗佑 好孝
楷葉小 一年 母	宇佐神 文結 有希	夏休み そうめんばかり もうあきた そのセリフ 母も言ってた なつかしい	原町一小 二年 母	寺田 陽香 宏子
広野小 一年 父	大越 一矢 有一	おぼえたよ 人魚をイメージ ドルフィンキック 上手だよ プールの中の 人魚姫	原町二小 二年 父	森 穂乃香 大輔
広野小 一年 母	大越 一矢 良子	あそこにも せみのぬけがら とりほうだい 取りすぎよ そんなに集めて どうするの	原町三小 二年 母	原 風花 真由美
新地小 二年 母	鈴木 乙市 みゆき	めんどうだ しゅくだいなやむ なつやすみ 麺どうだ? 弁当悩む 夏休み	原町三小 二年 母	佐藤 愛奈 津奈
駒ヶ嶺小 二年 祖母	伏見 奏祐 よし子	手をかさね ゆび先同士 びったんこ 健やかな 子の成長 かみしめる	大藪小 二年 母	菅頭 由姫乃 由紀恵
大野小 二年 母	大浦 怜奈 麻偉子	さらあらい するからママは 休んでて 子の成長 感じて母は 腰かける	太田小 二年 母	遠藤 由唯 真弓
		ゲームやめて 言ってる母は スマートフォン 子に言われ ハッとおどろく 子の成長	石神一小 二年 母	鈴木 孝太郎 真里

もう二年 一人で行けた サマーキャンプ
母見つけ 抱きつく我が子 まだ二年

ゆび一つ まっすぐはかる むずかしさ
慎重に 米ひとつぶの 大切さ

オクラのみ 上にむかって のびていく
我が息子 負けずに上へ のびていけ

コロナ明け 「ようやく会えたね」 ねえじいじ
孫という 元気な姿に 「いつまでも」

おきてるよ 大きな声は やめてくれ
母になり こんどは自分が 起す側

朝早く 捕まえた虫 餌あげる
いつまでも 親子で観たい 夏の虫

おかあさん ちゃんとふいてね 足のこう
語彙力は 一人前の 末娘

つめ切って この時だけは 一人じめ
ほらおいで 指定席だよ ひぎの上

おいしいね ばあばがつくった なつやさい
もりもりと たくさん食べて 夏バテ防止

わたしやる ゴーグルつければ だいじょうぶ
玉ねぎを 完全防備で 切る娘

ミニトマト かんだらジュワツと あまいしる
がんばった へんなかおしながら たべていた

【小学校 三年生】

お手伝い 味つけ私に まかせてね
しよっぱいな 隠れて後で 味なおし

もらうやさい すぐにじぶんで しおきゅうり
全て漬け 料理の中に みどりなし

石神二小 二年 志賀 晴仁

母 志賀 彩

石神二小 二年 柴田 羚牙

母 柴田 舞

石神二小 二年 鈴木 桐矢

母 鈴木 みゆき

鹿島小 二年 長谷川 翔生

父 長谷川 晃

鹿島小 二年 金子 暖

母 金子 加奈

鹿島小 二年 松本 楓馬

父 松本 宏明

鹿島小 二年 塩谷 友梨

母 塩谷 ひとみ

稽葉小 二年 熊谷 悠

母 熊谷 未来

広野小 二年 遠藤 壮真

祖母 山城 常子

広野小 二年 坂本 華菜

母 坂本 美沙子

川内小 中学園 二年 秋元 正広

母 秋元 ジュリエット

新地小 三年 賢持 葵彩

祖母 賢持 謠子

大野小 三年 佐藤 心

母 佐藤 綾花

墓まいり ばあばの後ろ ついて行く
いつかまた 見たい母の 後姿

遊ぶ手も 水分補給で 一休み
猛暑日に 孫と遊ぶも 命がけ

いつまでも 出番がこない 肩たたき券
うれしくて もったいなくて 使えない

お父さん ぼくはボールを けりたいです
息子との キャッチボールが 夢でした

はじめての あさがおゆかた うれしいな
孫が着る 娘の浴衣 丈足らず

もぐれたよ 今どはういて みせるから
子の成長 二人で泳ぐ 日が近い

一人たび 電車の中は ドキドキだ
できるなら ついて行きたい 目的地

タプレット ついていけない 父と母
もういいよ 自分でやるよ 新世代

ママじゃなく 今日からよぶよ お母さん
ついに来た 嬉しきみしい ママ卒業

夏空へ はじめて見えた 雲の上
初空へ 光る雲海 子の瞳

母ひるね そーとふとんを かけるぼく
目覚めたら 心も体も 温かい

ママの手が 小さくなるね ふしぎだね
つないだ手 成長感じ 空を見る

あついから s w - t c h やる気 まんまんだ
あついから やる気スイッチ はいらない

見てみてよ 上手にできたよ たまごやき
いつの間に 技を身につけた 小さな子

大野小 三年 加藤 萌結

祖母 加藤 ゆかり

中村一小 三年 伊藤 巧人

祖父 伊藤 邦夫

中村二小 三年 西谷 朋子

母 西谷 ふたば

桜丘小 三年 千葉 雅也

父 千葉 敬太郎

桜丘小 三年 近藤 菜緒

祖母 山田 ちえ子

飯豊小 三年 小野内 悠太

父 小野内 善生

原町一小 三年 佐藤 未怜依

母 佐藤 沙織

原町二小 三年 菅原 友希

母 菅原 陸

原町二小 三年 菅野 駿人

母 菅野 若菜

原町二小 三年 國分 陸翔

母 國分 千里

原町三小 三年 門馬 柚希

母 門馬 実香

原町三小 三年 羽山 心咲

母 羽山 美穂

高平小 三年 藤本 耀太

母 藤本 小織

大甕小 三年 柿平 紗依里

母 柿平 志帆

おぼんだよ 父のふるさと はかまいり
我が家なき 更地の上に 立つ息子

ポストから ゆうびんですよと お手伝い
ありがとう この夏限定 配達員

宿題を はやくやれよと うるさすぎ
夏休み 愛づ児の口から 「くそ」が増え

【小学校 四年生】

楽しいな 孫と一緒にの 盆踊り
おばあちゃん かそうが上手で 一等しよう

年おいて ばあばの手足 さびついた
孫の手は 自由に動く スイッチだ

野馬追を 見るのはぜったい そふの家
馬よりも 見るのは孫の いい笑顔

おばあちゃん 通してあげる はりの糸
いつの日か 見守るつもりが 見守られ

お手伝い ほめられたくて がんばった
助かった あとでこっそり やりなおす

ほっとする おばあちゃん家の この匂い
孫たちを 笑顔で迎える こつゆかな

ばあちゃんと なかよくならんで 良い笑顔
会う度に 祖母に近づく 子の背丈

やぐらから 歌声とどけ 天までも
民謡を 唄う孫見て 祖母惚ぶ

なりたいな お兄ちゃんみたいな プレイヤー
おさがりの はころび目立つ ユニフォーム

妹と ねぞうが一緒と おしえられ
寝ていても 寄りそう姿に にやけてる

石神二小 三年 武内 翔太郎
父 武内 雅人

石神二小 三年 早坂 有未
母 早坂 千枝

榎葉小 三年 島 瑤貴
父 島 玄隆

福田小 四年 林 真記子
林 梨菜

新地小 四年 角 優莉菜
角 洋子

駒ヶ嶺小 四年 北原 七海
祖父 松岡 善樹

中村二小 四年 鈴木 龍輝
祖父 鈴木 幾子

中村二小 四年 阿部 瑠米
祖父 阿部 さなえ

桜丘小 四年 羽根田 凱叶
祖母 澤田 絹江

桜丘小 四年 塚田 裕斗
父 塚田 祐一

桜丘小 四年 大内 美桜
母 大内 由美

飯豊小 四年 持館 澁大
母 持館 知子

飯豊小 四年 日那田 楓真
母 日那田 友里恵

皿洗い きれいにするよ お母さん
母あとで 洗い直すよ 二度手間だ

夏限定！ パバのおみやげ コクワガタ
夜勤中 息子のために 虫さがす

ごしゅいんに ねがいをこめて 寺社めぐり
朱印帳 幸せ願う 親娘旅

シヌノーケル 透明カラフル 海の中
顔出せば 青くつながら 空と海

とうみぎは 前歯につまんで 食べづらい
詰まる歯が あるだけいいべ うらやましい

覚えてよ ぼくがきみの お兄ちゃん
妹の 笑う笑顔に 照れ笑い

新人戦 キャッチャーとして がんばるぞ
球審で 父と息子の 初共演

かくれんぼ 夜中に始める カフトムシ
みいつけた どうかお願い 飛ばないで

大事だよ 防災グッズ 備えよう
非常食 年に一度は 見直そう

グラグラと ぬけた下から 大人の歯
見上げてた 視線が今では 横並び

庭にいた 赤ちゃんカナヘビ 飼いたいな
まかせとけ 今からコオロギ とってくる

新人戦 初めての試合 ドキドキだ
試合する 子供を見ると ハラハラだ

【小学校 五年生】

雨ふりそう せんたく物は しまったよ
いつの間に 物干し竿に 届く背に

原町一小 四年 柚原 蒼汰
母 柚原 裕子

原町二小 四年 逢坂 命
父 逢坂 誠

原町三小 四年 西山 紗矢
父 西山 祐司

原町三小 四年 朝田 智哉
母 朝田 麻美

高平小 四年 戸川 幹也
曾祖母 谷田部 永子

大甕小 四年 田村 健太
母 田村 祐子

石神二小 四年 大谷 空琉
父 大谷 優輔

鹿島小 四年 若松 隼人
母 若松 貴子

鹿島小 四年 渡邊 琉生
母 渡邊 美和

小高小 四年 澁谷 緒美
母 澁谷 勝美

榎葉小 四年 門馬 健治
父 門馬 照

広野小 四年 西本 魁人
父 西本 哲也

福田小 五年 目黒 葵唯
母 目黒 果奈

なんだっけ 思い出せない お買い物
たまごだよ わたしが母の メモがわり
ひるねして 気づけば布団 かかっている
ちよっとだけ ぼくもとなりで うとうとと

今日はどれ? 姉といっしょに 服選び
いつのまに 七歳下が 同サイズ

グラウンドで 売り切れる母の キュウリたち
ボール蹴る 子どもら想い 板ずりす

ゴロゴロで なぜかワクワク 稲光
稲妻よ 豊かに育め 子どもも

悩みごと 素直に言える 母になら
わが子なら すべてわかるよ 顔見れば

初試合 フライ取れたよ うれしいな
ライトには 打たないでくれ パッターよ

ご飯なに? 毎日聞かれ 困る母
給食の ありがたしみる 夏休み

やきんのひ がんばる母を まつわたし
大好きと 寂しき隠した 子のメール

浴衣着て ミニファン持って 夏祭り
必需品 昔人カ 今電気

一人旅 七夕目指し きっぷ買い
仙台で ドヤ顔見つけ ほほゆるむ

とどかない 踏み台とって!! 息子呼ぶ
じまんげに 踏み台いらん はいどうぞ

祖父の家 畑のスイカで スイカ割り
前前右 そこだいいぞ たたき割れ

サーブミス 試合に負けて くやし泣き
忘れるな 悔しき想い 実を結び

新地小 五年 母 菅野 翔子
菅野 有那

駒ヶ嶺小 五年 母 木村 由加
木村 星斗

中村一小 五年 母 佐藤 穂香
相馬高等学校 三年 佐藤 花香

桜丘小 五年 母 田原 隼生
田原 妙子

桜丘小 五年 父 石井 亮光
石井 敏光

桜丘小 五年 母 小野 竜希
小野 真美

飯豊小 五年 父 佐藤 瑠輝也
佐藤 隆史

原町一小 五年 母 佐藤 悠斗
佐藤 仁子

原町二小 五年 母 西内 結愛
西内 弥生

原町二小 五年 母 佐藤 詩歩
佐藤 麻美

原町三小 五年 母 鈴木 歌倫
鈴木 仁美

原町三小 五年 母 東田 奈津希
東田 琉依

高平小 五年 母 郡 璃飛斗
林 浩二

石神一小 五年 母 大谷 綾乃
大谷 志穂子

手についた あつあつごはん つまみ食い
いつもより 小さなおにぎり 入ってます

この暑さ 再生可能に 使いたい
脱炭素 共存できない この暑さ

ママの背に もうすぐとどくにやりがお
負けないと 知らないふりし 背のびする

暑すぎて 勉強の手が すずまない
暑くても タブレットの手は 動くんだ

元日の 歩け歩けで 楽しいな
初日の出 年の始まり 子と歩く

今度こそ 遠くへ打ちたい 父の球
何度でも 投げてあげるよ ストライク

お手伝い 初めて作る ハンバーグ
おいしいよ おこげの味も 愛の味

何回も 教えているよ 覚えてね
忘れたふり 孫との会話が ポケ防止

やったふり 見破る母の目 タカのように
夏休み 呑気な我が子と 焦る母

【 小学校 六年生 】

泊まりの日 働く母を 待つ私
次の朝 母に戻れる 幸福日

ナスの山 ばあちゃんいつも にらめっこ
お漬物 色あざやかで おすそわけ

かき氷 作ってあげる 私がね
分かったよ スプーンかた手に まち続け

おいしいな 母が作った 朝ごはん
いつの日か あなたが子供に 作る日が

石神二小 五年 母 西内 晴香
西内 ひろみ

鹿島小 五年 母 五賀 睦美
五賀 旬

八沢小 五年 母 森 彩葉
森 智子

上真野小 五年 父 斉藤 健太
斉藤 純一

なみえ創成小 五年 母 吉田 優希
吉田 めぐみ

双葉北小 五年 父 高橋 美優
高橋 亮

広野小 五年 母 齋藤 諒真
齋藤 幸

広野小 五年 祖母 松本 航河
北郷 和子

いたて希望の里学園 五年 母 宮里 総晴
宮里 愛美

新地小 六年 母 菊地 好葉
菊地 良子

駒ヶ嶺小 六年 祖母 菊地 芽生咲
菊地 鈴江

大野幼稚園 年中 荒 香成
大野小 六年 荒 汐晏

中村二小 六年 母 館岡 玲音
館岡 かおり

オムライス 私がつくるよ まかせてね
ありがとう 食後は一緒に 皿洗い

涙する 震災遺構 その景色
安堵する あの時あなたを 守れたと

少しずつ 母から習う うちの味
期待して おいしいご飯 待っててね

「大丈夫。」 過保護な母と ぼくの声
「大丈夫。」 見守るはずが さげんでた

おかわりを 初めて見たと 言われたよ
「おかわり」と 駆ける姿に 胸いっぱい

ぼんおどり マスクがないよ スッキリだ
マスクなし えがおがみれた ぼんおどり

復興の 願いをこめて 見る花火
忘れない あの日の悲劇 想い継ぐ

家族旅行 親ふりまわす 私たち
四年ぶり 子よりも親が 楽しみだ

ぼくがやる 初めて挑戦 オムライス
オムライス 失敗したって おいしいよ

久しぶり 待ちに待ったよ マスクレス
やっただね みんなの笑顔 見れたかな

夏休み 日焼けのあとも 思い出だ
ありがとう 君は私の 太陽だ!

目覚めたら 毎日笑顔で おはようと
夏バテは わが子の笑顔で 乗りこえる

家で見ると 追どう花火 きれいだね
天国の 家族もきくと 見てるはず

暑すぎて せみの声が 聞こえない
夏休み せみを見たいと 子供達

中村二小 六年 西谷 いろは
母 西谷 朋子

中村二小 六年 高橋 来那
母 高橋 みずほ

桜丘小 六年 猪狩 鈴斗
母 猪狩 智子

飯豊小 六年 佐藤 誉
母 佐藤 明花

飯豊小 六年 福地 悠成
父 福地 由次

磯部小 六年 鎌田 旭
母 鎌田 恵梨

原町一小 六年 今野 希衣
祖母 今野 由記子

原町一小 六年 佐々木 佳穂
母 佐々木 祐子

原町三小 六年 矢部 倅輝
母 矢部 まなみ

原町三小 六年 高橋 茉那
父 高橋 直紀

原町三小 六年 志賀 望英瑠
母 志賀 佳世

高平小 六年 藤田 采花
母 藤田 光美

大甕小 六年 上野 倅更生
父 上野 敬幸

太田小 六年 岡田 七菜
父 岡田 智一

じいちゃんの 作った野菜は 日本一
孫のため 汗水流して 芋おこす

震災後 生まれたぼくは 六年だ
震災時 お腹をさすり 祈る母

LINEきた 「宿題やってね」 分かっている
分かっている そのうち分かるよ 親心

真夏の日 朝から千本 竹刀ふる
がんばればよ 私と一緒に 鍋をふる

母夜勤 こっそり夜更かし ばれてない
夫より 「まだ起きてるよ」と 午前2時

【 中学校 一年生 】

最近 は ひとりで髪を 結べます
毎朝の 髪結ぶ日々 なつかしい

そばにいて 父に似ていく 成長期
おさがりを 息子にもらう スニーカー

ママごめん 最近私 反抗期
大丈夫 ママも負けじと 更年期

みつけたよ サイズピッタリ ママの服
気がつけば クローゼットが 空いてゆく

僕と母 言葉いらない Eye言葉
子と視線 合った瞬間 「今やるよ」

返球が 優し過ぎると 娘言う
グロープの 奥には父の ニヤケ顔

ゆかた着て 友達いっしょに 夏祭り
ついにきた 親より友を 選ぶ日が

お弁当 しょうがないなど 怒る母
いつだって 好きなものは 買ってある

石神二小 六年 斎藤 優芽
祖父 渡部 俊一

上真野小 六年 冒澤 亮二
母 冒澤 美佐江

小高小 六年 小山 大貴
母 小山 敬子

広野小 六年 坂本 遥斗
父 坂本 明彦

母 大島 有実莉
大島 かわり

尚英中 一年 藤 莉央奈
母 藤 むつみ

中村一中 一年 高橋 大翼
父 高橋 芳寛

中村一中 一年 山口 桃香
母 山口 利恵子

中村一中 一年 今野 愛利
母 今野 亜沙美

向陽中 一年 今野 愛利
母 今野 亜沙美

向陽中 一年 太田 賢吾
母 太田 めぐみ

向陽中 一年 臺内 健
父 臺内 琉華

原町二中 一年 鈴木 飛鳥
父 鈴木 孝洋

原町二中 一年 大内 清菜
母 大内 圭以子

生誕祭 親からの愛を 受けまくり
生誕祭 パパの推し活 まな娘

今年は何 駅伝挑戦 してみたよ
まだ負けぬ 一緒に走った 夏休み

ユニフォーム だろんこまみれ 誇らしく
あと何回 洗濯できる 喜びは

「ありがとう」 チェーンに落ちる 祖父の汗
夏の朝 意気揚々と ペダルこぐ

夏の夜 花火に私 目がキラリ
花火より 娘の瞳 父見てる

何回も 続けるラリー 楽しいな
ピンポンと ラリーができた なつやすみ

イラついて 態度に出すけど 母が好き
マザコンと 反抗期はね 紙一重

声変わり 舞台上に立つため 演奏家
兄く音 心をこめて 歌いたい

家離れ 初めて気付く 親の愛
子の帰省 笑顔見たさに 腕振るう

離れても いつも気持ちは つながるよ
照れ笑い 言葉なくとも 通じ合う

親元を 離れてトップ 目指す道
子の背中 笑顔と涙で 送り出す

忘れてた 僕の宿題 手伝って
ちよっと待って GPTに 聞いてみる

【 中学校 二年生 】

父の愛 かけがえのない 幸せ
子の笑顔 光輝け 永遠に

原町三中

一年 板橋 玲奈
母 板橋 敦美

顔色は 力を出した 証だよ
顔色で 分かるできれば テスト期間

中村一中 二年 菅野 恵瑚
父 菅野 厚

石神中

一年 小澤 瑠音
父 小澤 建二

いつからか 僕を見上げて 叱る母
母のシワ あなたの成長 記録です

中村二中 二年 佐藤 樹
母 佐藤 真奈美

石神中

一年 佐藤 佑紀
母 佐藤 有里子

マスクから 浴衣に着替え 夏祭り
間に合った 今から青春 取り戻せ

中村二中 二年 南部 小羽音
母 南部 幸子

鹿島中

一年 石井 良更
祖父 石井 敬秀

「これ聴いた？」 母と情報 共有す
推しのこと 会話止まらず 家事止まる

向陽中 二年 篠山 圭杜
母 篠山 順子

鹿島中

一年 池田 唯
父 池田 伸之

鳴いている うちでは年中 せみの声
勝ります せみの声より 三姉妹

向陽中 二年 岡田 陽
母 岡田 育子

鹿島中

一年 小谷津 亜美
母 小谷津 可奈子

県大会 汗と涙と 歓声と
手に汗と ハンディファンを 握りしめ

向陽中 二年 高橋 空人
母 高橋 桐子

稽葉中

一年 宮本 勇登
母 宮本 美樹

夏祭り 友と踊った 盆踊り
夏祭り 今年も夫婦 水いらす

向陽中 二年 河西 華成
母 河西 友美

稽葉中

一年 新田 暖馬
四年 新田 倅芽

五年振り 母と二人で 野球場
ユニフォーム 弾む気持ちの ペアルック

向陽中 二年 阿部 亮典
母 阿部 恭子

広野中

一年 大橋 晴一郎
母 大橋 実可

墓前立ち 思い出語る 母の顔
墓参り 記憶辿る 遠い過去

磯部中 二年 矢澤 麗那
母 矢澤 真奈美

広野中

一年 森 春輝
母 森 美穂

演台で とたりを見れば 友がいる
演台に 立って話すは 友のため

原町一中 二年 田中 美紅
母 北畑 奏海

ふたば未来学園中

一年 山内 悠成
父 山内 浩

唯一の 二人でかける ライフの日
四十過ぎ 推しがつないだ 親子のきずな

原町一中 二年 刀根 心
母 刀根 友美

ふたば未来学園中

一年 佐藤 旭
祖母 佐藤 ちよ子

大好きな 国語の授業 待ち望む
学び合い ひとみ輝き ペン走る

原町一中 二年 鈴木 志美
原町一中 二年 武口 春菜

中村一中

二年 鈴木 ももか
父 鈴木 政利

夏の部活 仲間が皆焼け 黒くなる
その日焼け 共に戦う 仲間の証

原町一中 二年 岡島 和寿
原町一中 二年 白岩 蒼獅

中村一中

二年 鈴木 ももか
父 鈴木 政利

ヒントさえ 分からぬゲーム くり返す
「あれ」や「これ」 会話の途中 連想ゲーム

原町一中 二年 松岡 美空
母 松岡 みゆき

今度こそ 二人で共に 勝ち上がるう
大丈夫 この二人なら 勝てるはず

原町一中 二年 吉川 紗良
原町一中 二年 佐々木 莉央奈

この夏は 七転八起 友がいる
友がいる 不撓不屈の 精神で

中村一中 三年 関口 真里衣
中村一中 三年 青田 琉愛

母の日に 花束もらい 涙ぐむ
花言葉 「感謝」を込めて 贈る愛

原町一中 二年 母 佐々木 舞
原町一中 二年 佐々木 恋那

ねえねえねえ 今日あったの こんなこと
え、何何 続くといいな いつまでも

中村一中 三年 母 猪狩 千智
猪狩 真理子

ごりごりと 疲れがわかる 母の足
ここだよな? 痛がる場所を 分かっている

原町一中 二年 母 藤原 優芽
藤原 祐美

野馬追の 激しい試験 頑張った
夢かなえ 父と私で 野馬追だ

中村二中 三年 父 岩本 宏美
岩本 瑠華

お父さん 私と母を 間違える
並んたら 母の背文を 超えていた

原町二中 二年 父 金子 明日香
金子 良文

母帰宅 わたし焦って 皿洗い
ありがとう 知らないふりの ぬれた皿

中村二中 三年 母 上館 愛結
上館 志穂

夏空の 変化観ながら 自転車漕ぐ
南雲や 青空夕焼け 眺め待つ

鹿島中 二年 母 植作 綾菜
植作 真由美

何着よう ごめん借りるね 母の服
大丈夫 サイズも好みも ほぼ同じ

向陽中 三年 母 菅野 葵彩
菅野 喜久

勝ちたいと 思う気持ちで とぶ暑さ
気をつける 夏の暑さも 相手にも

鹿島中 二年 父 船野 虎太郎
船野 裕一

これ見てよ 近すぎるよと 怒る父
老眼と 認めたくない 頑固者

向陽中 三年 父 萩野 美優
萩野 忠昭

祖母の肩 心を込めて たいたよ
肩たたき 孫の力が 気持ち良い

葛尾中 二年 祖母 松本 晴樹
松本 智恵子

夏本番 受験の神様 降りてきて
この夏が 流した汗ほど 福笑う

原町二中 三年 父 佐藤 昌記
佐藤 昌記

兄ちゃんの チームにまざり 夏合宿
ついてこい いいとこみせて やせがまん

広野中 二年 兄 小林 凜太郎
小林 士道

数学で 僕は手こずる 平方根
平方根 家で教える 基礎の基礎

原町二中 三年 母 廣瀬 隆惺
廣瀬 洋子

目覚ましを 消してもひびく 母の声
ありがとう 自然についた 肺活量

広野中 二年 母 松本 大河
松本 美香

「おはよう」と 「おやすみ」以外 会話なし
それでもね ありがとうと 思っている

原町三中 三年 母 堀内 優加
堀内 来十

弟に 使って消える 一人時間
お兄ちゃん 大好きだから 遊びましょ

ふたば未来学園中 二年 母 佐藤 秀祐
佐藤 颯祐

受験生 つねに机と にらめっこ
その姿 そっと見守る 親ごころ

石神中 三年 母 井上 龍聖
井上 啓子

私にも だっこさせてよ 弟を
もうすこし だっこさせてよ お姉ちゃん

いいたて希望の里学園八年
いいたて希望の里学園二年

十七字 祖母と考え 笑い合う
恒例の 俳句作りは 脳トレか

石神中 三年 祖母 澤田 果歩
福岡 英子

【 中学校 三年生 】

姉妹だと 間違えられて 上機嫌
お世辞だと 分かっているけど 得意顔

尚英中 三年 母 杉江 絵莉香
杉江 裕子

剣と友 静中動で 成し遂げる
剣道で 出会えたご縁 相互に礼

鹿島中 三年 母 高橋 実夢
高橋 美和子

まかせとけ 15キロなんて 楽勝さ
米運ぶ 君のチカラに 母頼る

尚英中 三年 母 山木 来夢
山木 恵梨佳

朝の海 映えた写真は 父と馬
浮き立ちて 娘と一緒 朝の海

鹿島中 三年 父 森 愛来
森 宏之

去年まで がまんがまんの 夏休み
浴衣着て やつとのびのび 夏祭り

鹿島中 三年
小高産業技術高校 二年

本馬 琉愛
本馬 彩愛

やつとみれた てつきようわたる ただみせん
奥会津に 響く汽笛よ とこしえに

原町三小 一年
父

蛭田 優斗
蛭田 尚史

口喧嘩 本音が絶えず 未解決
ごめんねと 言えたらすぐに 仲なおり

鹿島小 六年
鹿島中 三年

小野田 海大
小野田 海音

ふるさとを 五感で感じる このまちで
ふるさとを まもりつづける ぼくのてで

鹿島小 一年
母

佐藤 由香理
佐藤 陽翔

父の肌 だんだん黒く なっていく
早くから 家族を思い 仕事場へ

なみえ創成中 三年
母

大柿 有加
大柿 真紀

どれにする？ ももにぶどうに なしりんご
どれにしよう ぜんぶすきだよ きめられない

榎葉小 一年
母

上野 里名花
上野 陽愛

車乗り 心ドキドキ 恐怖心
我が子乗せ 初のドライブ 会話なし

富岡中 三年
母

村瀬 壬悠
村瀬 夏江

【小学校 二年生】

新地小 二年
母

角 奏亮
角 あゆみ

大丈夫 カ仕事は 任せてね
年になり 孫が手伝う 荷物持ち

榎葉中 三年
祖母

北村 結愛
青木 則子

かろう山 まにあいたいな はつ日の出
登る度 背中まぶしい 山之道

中村二小 二年
父

菅野 友汰
菅野 吉寿

戻りたい 部活で満たす 毎日に
終えたなら 受験で満たして 下さいな

広野中 三年
母

波邊 龍俄
波邊 絵利子

お父さん 大きくなったら 船にのる
だいじょうぶ 福島の海 とりもどす

飯豊小 二年
母

佐光 望瑠
佐光 愛理

滞省して わかった親の ありがたみ
ありがとう 息子の一言 嬉し泣き

広野中 三年
母

奥村 玲央
奥村 有子

「んだ、べした」 ぼくはじいじの まねをする
「いいべした」 それがじいじの 「標準語」(笑)

日立木小 二年
母

佐藤 佑汰
佐藤 恵

反抗期 おおめにみてよ おばあちゃん
甘えるな 何年続く 口答え

ふたば未来学園中 三年
祖母

原 百香
深澤 千恵子

のまおいに じいじといっしょに うまにのる
来年は 男孫とも 出陣を

原町二小 二年
母

鎌田 莉緒
鎌田 香織

熱帯夜 絶えず走らす ポールペン
隙間から 洩れる光を 気にかけて

川内小 中学四年
母

遠藤 結
遠藤 真希

里帰り 寺の境内 供養の舞
かねたいこ リズミカルだよ じゃんがらおどり

原町三小 二年
父

薄葉 洋人
薄葉 風駕

一次審査通過作品(ふるさと部門)

【小学校 一年生】

こんにちは あいさつできる かろう山
山の中 元気な声が こだまする

駒ヶ嶺小 一年
母

伊藤 大貴
伊藤 康代

うまにのり あせかくすがた かつこいい
千年の 歴史を背負う 武者姿

太田小 二年
母

佐々木 悠琉
佐々木 佳織

みいつけた クワガタいたよ きのあいだ
虫捕りの 父との思い出 子と迎る

飯豊小 一年
父

横山 和飛
横山 文和

ふるさとの 発車メロディ ぼくすきだ
歌い継ぐ 「相馬流れ山」 ローズむ

石神一小 二年
母

島村 龍哉
島村 弥生

およげたよ じいちゃんそらから みてたかな
亡き父の 思い出偲ぶ 北泉

原町一小 一年
母

福崎 はのん
福崎 歩未

やどかりを 海でさがして そだてるぞ
ねだる顔 放さぬヤドカリ 折れる母

鹿島小 二年
母

青田 昂
青田 麻奈美

しみもちを おみやげにして さとがえり
まつてたよ すっかり私も しみもちファン
ふたば町 でん車にのって またいこう
子供達 笑顔でもどる ふるさとへ

葛尾小 二年 松本 桃佳
おば 長部 英子
双葉南小 二年 猪狩 奈乃羽
父 猪狩 勝也

森の中 ホタルが舞うよ ながれぼし
おすめので きゅつとにぎり ねがいごと

川内小中学園 三年 秋元 千花歩
母 秋元 かなえ
福田小 四年 菊地 蓮翔
母 菊地 五江

【小学校 三年生】

手を合わせ きゅうりの馬で 祖母迎え
ナスにのり かえるばあちゃん またきてね

尚英中 一年 伊藤 日和
新地小 三年 伊藤 日珂

ゆうぐれに いそぐふたりの かげぼうし
あついひび とおくのいとこ おもいつつ

大野小 四年 青田 信子
青田 心遙

田んぼみち タヤけいなほど かるう山
夕焼けて あの頃想う 鹿狼山

駒ヶ嶺小 三年 渡部 歩
母 渡部 由加利

野馬追の 馬の足音 夏が来た
照りつける 陽の下騎馬武者 堂々と

桜丘小 四年 福留 尚央
父 福留 隼人

なんでだろう 懐かしい気持ち 富岡町
ふるさとを 我が娘と歩く 不思議だな

駒ヶ嶺小 三年 茂木 葵音
父 茂木 大

盆おどり みんなでおどれ たのしいな
コロナ明け チームでおどり 特別賞

桜丘小 四年 鈴木 颯真
父 鈴木 永哉

のまおいを はじめて見たよ かっこいい
妹よ やつと知ったか 相馬のよき

中村二小 三年 上館 娃悠
中村二中 三年 上館 愛結

すてきだな びかびか光る 流れ星
夜の空 ホタルが舞うよ ヒカピカと

原町一小 四年 渡部 心春
母 渡部 恵理加

盆の夜に ふるさとのうた 子に託す
母きいて 相馬盆唄 うたうから

桜丘小 三年 土谷 芳美
母 土谷 結人

わっしょいと みこしかついで 前夜祭
担ぐ顔 騎馬武者みたいに 勇ましい

石神二小 四年 鈴木 瑛仁
母 鈴木 みゆき

はまだおり イノベスタンプ あつめよう
復興と イノベの知識 見聞きする

原町一小 三年 小林 祥太郎
父 小林 弘典

おいしいな ばあばが作る ほつきめし
もうひとつ 笑顔でねだられ またにぎる

石神二小 四年 渡辺 智也
祖母 佐藤 高子

野馬追は 夏の思い出 ふるさとの
暑い夏 相馬野馬追 血がさわぐ

原町三小 三年 我妻 結莉
母 我妻 小依

【小学校 五年生】

震災の 道路の看板 父に聞く
大津波 国道超えた子に伝え

大薮小 三年 澤田 和虎
父 澤田 博幸

孫に会い 笑う母見て ほっとする
ひさしぶり やっぱり大好き ばあばん家

新地小 五年 舛田 由香
母 舛田 結愛

暗い夜 大きくひらく 夢花火
彩りと 想いを乗せて 響く空

石神二小 三年 岡田 到真
母 岡田 愛海

帰ってこい 空飛ぶヒヌマイトトンボ
ふるさとの 海辺の自然 もう一度

大野小 五年 高玉 結太
父 高玉 宏太郎

田植之日 じいじのつた みどりの線
娘とじいじ がんばる田植え 母笑顔

広野小 三年 横田 真結
母 横田 朝子

仏だんの お花をあげたよ ぼくの手で
先祖様 たった三日の はす葉膳

中村一小 五年 酒井 大輝
祖母 酒井 定子

いいたては しぜんたくさん 夏の森
なつかしい 親子で探す カブトムシ

いいたて希望の里学園 三年 眞柴 鳳士
父 眞柴 哲宏

しん災を 学んだからこそ 伝えなきや
小学生 遠足で知る12年前

中村二小 五年 浅尾 優介
父 浅尾 章彦

お母さん いつか出たいな 野馬追に
そうですね まずは体力 つけなきゃね

ほっきめし 私のイチ押し 食へてみて
ほっきめし 母から受け継ぐ ふるさとの味

いつの日か 父のふるさと 見てみたい
いつの日か 見せてあげたい 双葉の地

なびく旗 人馬一体 かける夏
武者達の 戦国絵巻 永遠に

ねえはっちゃん もとの家は どのへんよ
ながされて このあたりかな 今道路

野馬追で ゆうかんに見える ぼくの父
約束の 御神旗片手に 子を探す

無線塔 SOSと 宇宙に消え
開局 百年経た 無線塔

緑赤 トマトキュウリに かぶりつく
瑞々し 色よく光る 夏野菜

【 小学校 六年生 】

胸はずむ 無きふるさとの 波の音
不思議だね なぜか落ちつく 母の声

ふるさとの 家族とむかえる 夏休み
久しぶり 皆で集まり にぎやかに

夕食は 相馬の海の 魚たち
食べたいな 祖母にリクエスト ほっき飯

育った地 あつというまの12年
福島の 未来に輝け 子供たち

福島の ももなしぶどう おいしいな
福島の 豊かな恵みに 感謝だね

桜丘小 五年 澤内 結音
母 澤内 将子

飯豊小 五年 岡 梨々花
母 岡 香織

原町一小 五年 朝田 麻友
父 朝田 正幸

高平小 五年 樋渡 ゆい
母 樋渡 めぐみ

高平小 五年 蒔田 結衣
祖母 蒔田 初子

鹿島小 五年 北元 悠成
父 北元 秀明

小高小 五年 関場 隆介
祖母 関場 昌子

学び舎ゆめの森 五年 菅波 瑠那
母 菅波 恵美

新地小 六年 佐々木 裕美
母 佐々木 瞭

新地小 六年 小野 桜子
母 小野 和美

八幡小 六年 横田 晃久
母 横田 弘美

中村二小 六年 松本 颯汰
母 松本 絵美

中村二小 六年 木幡 奏乃
父 木幡 洋平

野馬追で 我が町相馬 活気づく
伝統を 身近に触れる 夏休み

福島は 復興続く 未来へと
我大地 仲間と共に 取り戻す

相馬市は 海産物が 美味しいな
ホッキ貝 あさり青のり スワイガニ

車窓から 見える景色に 大興奮
高層ビル 都会のあこがれ 3日だけ

ももを買い 家族の笑顔 農家さんへ
桃の山 今年はどこに 贈ろうか

炎天下 風なびかせ 馬駆ける
騎馬武者の 雄姿見るたび 胸躍る

見に行こう 待ちに待ってた 野馬追を
野馬追ロス がんばれ宿題 夏の陣

また来てね 見送るホームに 新幹線
銘々に はばたいていく つばさかな

来年は 子を乗せ馬引く 父の夢
父の夢 引継ぎ馬乗る 夏の朝

なみえ町 自由に動く 未来には
故郷の 未来を築く 子ども達

富岡で 祖父と迎え火 門前で
微笑を 忘るる勿れ 子と孫と

お母さん 夜空に光る あれはなに
ホタルだ!!と 我も子に戻り 見る光

新せんな ヒラメは甘くて とろけたよ
活気づく 請戸港に 安堵する

中村二小 六年 松本 珠空
母 松本 瞳

中村二小 六年 鈴木 悠海
父 鈴木 和幸

桜丘小 六年 高橋 航
父 高橋 進

原町一小 六年 佐藤 陽莉
父 佐藤 昌記

原町二小 六年 益山 彩生
母 益山 幸子

原町二小 六年 元内 星奈
父 元内 秀美

原町三小 六年 三品 孝介
母 三品 亜衣子

原町三小 六年 朝田 宗哉
叔母 片野 美咲

鹿島小 六年 森 宏之
父 森 結愛

なみえ創成小 六年 佐藤 獅
先生 角田 由江

富岡小 六年 井戸川 蔵治
母 井戸川 幸子

楳葉小 六年 下川 絆
母 下川 絵美

広野小 六年 市川 真希
父 市川 哲央

【 中学校 一年生 】

辛くても それ以上の 物がある
「しんどいな」 登れば「最高！」 鹿狼山

徒歩十秒 産地直送 夏野菜
ぼくが継ぐと 祖母の畑で 草むしり

大切な みんなの居場所 いつまでも
蘇り 輝き放つ 大自然

ひづめの音 相馬に響く 野馬追の
伝統と 夏の訪れ 知らせる音

馬走る 相馬野馬追い かっこいい
馬かける 今年も始まる 野馬追いが

やってきた ここが僕らの 浪江町
友達の ふるさと浪江 どんな町

たくましく 野馬追うすがた ふるさどで
野馬追は この地がほこる フェスティバル

北泉 潮風香る 夏が来る
潮風に 乗ってにぎわう 夏の海

法螺貝が 真夏の空に 鳴り響く
梅雨明けて 野馬追い祭り いざ来たり

螺鳴らし 初めて口上 述べる朝
伝統を 受け継ぐわが子に 目がうるむ

祭場地 汗でにじんだ 陣羽織
伝統の 騎馬武者迎え 流れ山

伝統を 踊ってつなぐ 流れ山
流れ山 踊る娘の 晴れ舞台

今はなき 自宅の跡地 今は海
楽しいな 海水浴で あそぶぼく

尚英中 一年 母 猪狩 和真

尚英中 一年 母 猪狩 亜也

尚英中 一年 母 荒 瑞雲

中村二中 一年 父 齊藤 優衣

向陽中 一年 母 齊藤 健

原町一中 一年 一年 門馬 琥太郎

原町一中 一年 一年 横山 真奈

原町一中 一年 一年 関口 眞心

原町一中 一年 一年 今田 佳吾

原町一中 一年 一年 蔵野 愛莉

原町二中 一年 母 菅野 明

石神中 一年 父 金子 莉緒

鹿島中 一年 父 青野 真夏美

鹿島中 一年 母 青野 悠馬

そで通す 母と同じ 制服に
思い出す 友と過ごした 双葉の学び舎

木戸川に 今年も鮭が 帰るかな
賑わいを 我が子と共に 待っている

砂浜の ゴミを拾えと 海の声
故郷の 海の声聞き ゴミ拾い

新緑の おいしげる山 ながめる私
澄んだ青 煌めく海原 遊ぶ私

ふるさとの 田は青々と トンボ飛ぶ
立秋の 田にそよぐ風 のどかなり

ありがとう 思い出つまる 我が母校
津波耐え 少子化耐えぬ 八沢小

びっくりだ ヒトデ見つけて 母はしゃぐ
海育ち 初めて見たよ 生ヒトデ

【 中学校 三年生 】

浜の砂 波にゆられて 踊ってる
時間かけ もとに戻った 相馬の海

防波堤 津波の高さを 知る印
「想定外」 言葉飛びかう 震災時

久方の 花火に屋台 夏祭り
四年ぶり 活気が戻る 地域かな

海びらき 朝からむかう 自転車
海近し 笑顔と太陽 まぶしいな

双葉中 一年 母 高橋 梨奈

双葉中 一年 母 高橋 奈美

尚英中 二年 母 橋本 莉穂

尚英中 二年 母 橋本 祥子

中村一中 二年 母 中津川 喜賢

中村一中 二年 母 中津川 洋美

向陽中 二年 母 佐々木 結花

向陽中 二年 母 寺島 理子

鹿島中 二年 父 古宇田 有砂

鹿島中 二年 母 古宇田 由美

鹿島中 二年 母 菅野 樹彦

鹿島中 二年 母 菅野 雄大

震災時 いつ戻れるか 不安の日
時がたち 忘れつつある あの景色

懐かしい においといななき 夏の風
馬たちも 一役になう 世界のきずな

終わらない 復興の道を 進んでく
学び舎が なくなるこれも 復興か

鮮やかな 浴衣溢れる 火の祭
ふるさを 取り戻しゆく 火の祭

我知らぬ 昔の故郷 弾む声
我が町を 後世に伝える 伝承者

故郷の 黒い怪物 どっかいけ!!
故郷の 黒いキズあと ふさがって

夏祭り 賑やかなおと 響かせる
コロナ明け 笑顔溢れる 夏祭り

野馬追の 出陣飾る 宮太鼓
宵祭り 相馬太鼓の 笑顔咲く

原町二中 三年 母

國澤 和美 蕾

原町三中 三年 祖母

新川 弥生 伊賀 和子

石神中 三年 母

小椋 みちる 小椋 いずみ

小高中 三年 母

發田 祐華 伊藤 希

なみえ創成中 三年 母

瀬川 凌央 瀬川 久美子

いたて希望の里学園 九年 母

阿部 華瑠奈 阿部 恵

ふたば未来学園中 三年 母

山本 あこ 山本 亜紀子

相馬高等学校 二年 母

芳賀沼 美佑 芳賀沼 亜樹

【 高等学校 二年生 】



発行：福島県教育庁相双教育事務所 総務社会教育課

〒975-0031 南相馬市原町区錦町一丁目30番地

☎ (0244) 26-1315

📠 (0244) 26-1318

